

## 令和2年度第1回刈谷市総合教育会議 議事録

### 1 日 時

令和2年6月22日（月）午後1時30分～午後2時40分

### 2 場 所

刈谷市役所 503会議室

### 3 議 題

(1) 刈谷市教育大綱の改定について

### 4 出 席 者

市 長	稲垣 武
教育委員会 教育長	金原 宏
教育委員会 委員（教育長職務代理者）	池田 裕幸
教育委員会 委員	石田 芳加
教育委員会 委員	鶴田 英孝
教育委員会 委員	浅井 優

### 5 欠 席 者

なし

### 6 会議構成員以外の出席者及び事務局

教育部長	宮田 孝裕
教育総務課長	柴田 桂児
教育総務課 課長補佐兼施設係長	山田 芳久
教育総務課 総務係長	安藤 美奈
学校教育課長	木野 昌孝
生涯学習課長	塚本 吉郎
スポーツ課長	加藤 幹雄
企画調整監兼企画政策課長	伊藤 雅人
企画政策課 課長補佐兼政策推進係長	平野 元章
企画政策課 経営管理係長	見田 裕子
主事（書記）	荒井 秀行

### 7 傍 聴 人

0名

## 1 市長あいさつ

### 刈谷市長 稲垣 武

皆様、こんにちは。市長の稲垣でございます。

本日は大変お忙しい中、総合教育会議にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

現在、緊急事態宣言は解除されましたが、3密を避け、テレワークや時差通勤などを試みいただいているところであります。教育に関しましては、数か月に及ぶ休校となり、子どもたちは大変な境遇の中にいます。

本市では、5月13日の臨時市議会におきまして、小中学校の児童生徒への学習用タブレット端末を全員に配付する提案をさせていただき、現在はその準備を進めているところでございます。オンライン授業ということで、もし第二波、第三波があった場合には、こういったものを生かした教育を進めていただきます。

親御さんたちの経済的な負担をできる限り軽くするために、放課後児童クラブの利用者負担金の免除、夏季休業期間中の授業日における軽食の提供、就学困難な児童生徒への給食費相当額の助成をさせていただいております。また、国が児童手当を受給されている方に1万円を給付するとのことですが、それに加えて市の単独事業として、0歳から高校1年生までの方に1万円を6月30日に支給する準備が整いました。生活を給付という面からも支えていきたいと思っております。

このような困難な状況ですが、引き続き私も全力をあげて取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年度は、皆様とともに「刈谷市教育大綱」の見直しを行ってまいります。コロナ終結後、教育が変わっていくかもしれません。皆様から忌憚のないご意見をいただきながら、新しい大綱を作成していきたいと思っておりますので、皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。

## 2 議 題

### (1) 刈谷市教育大綱の改定について

- ・刈谷市教育大綱スケジュール案を資料1により説明
- ・刈谷市教育大綱の改定イメージ案を資料2及び資料3により説明

### <育てたい子ども像について>

#### 池田委員

現状の教育大綱にある「育てたい子ども像」に問題があるとは思っていませんが、例えば生きる力ですが、子どもたちが学校へ登校し先生や友達とやり取りをする、そういった中で育まれ、形成されていくものですが、一方で学校に登校できない、登校してもみんなと一緒に授業を受けられない、そういった子どもたちへの対応を明確化していただけたらと思います。刈谷だけでの問題ではないですが、そういった子どもが増加傾向にあるので、生きる力の前提条件の見直しができたらいいなと思います。

知・徳・体については、大幅に変える必要はないと思っております。今までやってきたこと

を振り返って進化させていく、その中で先生方の振り返りを盛り込めたらいいと思います。

#### 石田委員

大きく2つ考えています。

1つが、この数か月で時代の流れが変わってしまったので、だからこそコミュニケーションが大事だと思います。マスクで表情が半分以上隠れてしまうため、教育現場でも子どもの体調の異変や気持ちの変化に気づきにくくなっていないか心配しています。マスクで伝えるにくくなっていることをどう伝えたらいいか考える、コミュニケーションを大切にし、様々な世代の方とコミュニケーションを取る力をつけてほしいと思います。

2つ目は、個育て心育ち。個人、個性を大事に育てれば心が育ちますという意味です。子どもの好奇心を大人が取り上げてしまっていないか、大人が考える教育現場ではなく、子どもが参加できるような、例えば教科書の教材を考えるときに子どもの意見を取り入れる等、手法はいろいろあると思います。実際に教育を受けているのは子どもたちなので、その教科書が見やすいとか、読みにくいとか興味があります。大人が見てもわかりません。授業を受けている子どもたちがどう感じているのか知りたいと思います。

#### 鶴田委員

学校再開後、先生方は切迫感やストレスを持って取り組んでいただいていると思います。先生方の子どもへの接し方は変化していかなければいけないのかなと思いますし、それに伴い家族の教育への関わり方も変わっていかなければならないと痛感しています。もちろん、子どもたちが一番大きなストレスと戸惑いを感じているので、学業も大事ですが、より一層、学校と家庭が密に提携して、特に徳育、心に対するアプローチを強く図っていく必要があるというのが全体の所感です。

子どもに身につけてほしい力を観点にキーワードを3つ考えました。

まずは、今までの教育大綱にもありました自分に価値があると思える力、自己肯定感です。主体性を尊重された子どもは自分で考え、判断できる、自分の思いや考えを伝えられる、自己決定力や表現力、調整力を持った子どもになってくれると思います。

もう1つは、皆違って皆いいと思える力。言い換えると社会性のある子どもになってほしいと思います。特に中学生ぐらいは、人と違うことに対して非常に敏感で、自分が納得していなくても無理して合わせることもあるのではないかと思います。もちろん学校は集団生活ですので、他人との関わりを通じて学び、自分が成長するために必要な場ですが、多様性が認められないと苦しい場合もあるのかなと思います。

3つ目は、失敗は成功の母であると思える力をつけてほしいと思っています。自己実現の力がある子と考えています。失敗した後の行動力、分析力、応用力、勇気、ストレスへの対応方法など、様々な成長を促すことができるのではないかと思います。

#### 浅井委員

私は、対話のできる子どもになってほしいと思います。空気を読んでしまって、言わない、

黙っている、声の大きい人に付いていった方が楽、これを言ったら否定されるかもしれないなど、対話ができていると感じています。対話するには、深く考え、自分の意見を持ち、そして反対意見を認めることで対話が成立すると思っています。

#### **金原教育長**

I C Tが進むと、人との関わりが希薄になると思っていますが、友達や周りの人と接する中で子どもたちを育てていきたいと思っています。自己肯定感や自己有用感については、数字の上ではまだまだですけれども、子どもたちにはもっと自信を持って生きてほしいなと思っています。また、自他を愛し、自他を尊重して生きてほしいなと思っています。

#### **刈谷市長**

2つの側面から言いますと、行動や姿勢については、挑戦する、あるいは探求心。もっと砕いて言うと、やる気がある子になってほしいと思います。

心の中の話ですが、多様な価値観、自分の考えはあるが、相手を否定せずに受け止める、言葉を変えると寛容である、そういった心を持ってほしいと思っています。

### **<「知」について>**

#### **池田委員**

教育の情報化ですが、今回のコロナでI C Tの必要性が顕在化されましたが、あくまでも道具ですから、タブレット等が教育のためのツールとして効果が表れるのを期待しています。

#### **石田委員**

先ほど市長が言われた挑戦する気持ちを持つためにも、学ぶ意欲を高める必要があり、意欲を持ってもらう、高めるための工夫が大事だと思っています。そのためにも、人と異なる意見を楽しんでほしいと思います。

#### **鶴田委員**

プログラミング教育により論理的思考を学ぶという観点から、タブレット等の先進的な機器を使って実施する教育を推し進めるチャンスだと思います。ただし、新しい試みであるため、塾のような授業を配信するだけではなく、視覚的にわかりやすい授業を開発するという観点を入れていただけるとありがたいと思います。

また、現在の教育大綱の「知」の中に特別支援教育が大きくうたわれています。刈谷市は、刈谷特別支援学校が小垣江東小学校に併設しているという非常に先進的な取り組みをしています。子どもたちにかなり良い影響があると思っています。これが一部の学校だけでなく、刈谷市中で多様性を認め合って、特別支援教育に限らず共同学習という観点から新しい取り組みができるといいなと思います。

#### **浅井委員**

子どもたちには、論理的思考ができるといいなと思います。大人はP D C A等の思考になっていると思いますが、子どもはまだまだだと思っています。例えば理科研究では、問題点を見

つけて、それを数値化して、改善手法を考える。この考えができていないと思っていますが、理科に限らず、社会生活を送る上で、こういった思考は大事だと思います。こういった考えを「知」として早い段階からできるようになるといいと思います。

#### **金原教育長**

先ほどの子ども像を育てるために「知」・「徳」・「体」の3本柱があって、その「知」の中がさらに3本柱でできており、非常に見やすいものになっていると思います。「知」の②の「学ぶ力・学ぶ心の育成」ということで、学力を力と心の両面で捉えています。先ほどご意見にありました意欲を高めるためにどんな手法があるのだろうか、具体的に考えていただけたらと思います。

③の「新しい学び」ですが、タブレットを使った情報の授業や論理的思考や科学的思考なども新しい学びになると思います。

悩んでいるのは、これまで特別支援教育が「知」の中に入っていました。この特別支援学校と子どもたちとの交流を「知」とするのか、「礎」とするのか。「礎」の部分で皆認め合って生きるとした方が刈谷らしいのかなと思いました。

#### **刈谷市長**

「知」ということですけれども、読書、本に触れることが子どもたちにとって本当によいことだと思います。「学ぶ力・学ぶ心の育成」の部分では、学ぶ心の育成が一番難しい。どうやってやる気スイッチを入れるか、これができれば、教育の中で学ぶということの大方が終わるのではないかという気がしています。

新しいスタイルとしてICTがありますが、電子黒板やタブレットは画面の中で考えがちですが、手や目、五感を使って学ぶということを忘れてはいけません。

### **<「徳」・「体」・「礎」について>**

#### **浅井委員**

「徳」について、子どもは自分だけで自分はこれでいいんだと思うことが難しいため、他者からの承認が必要だと思っています。先生や周りの大人が承認欲求を満たしてあげることにより、自分はこれでいいんだと安定し、その安定の上で、あなたもこれでいいんだよと繋がっていくと思います。

「体」はこれまでどおりで大丈夫だと思います。

#### **鶴田委員**

「体」について、子どもにはよく寝てほしい。よく寝る子は、心も安定する。健康増進ということで、学校や家庭で睡眠を指導する観点を入れるといいと思います。

#### **石田委員**

「徳」について、私も読書は大切だと思います。

「体」について、私も睡眠の話をしようと思っていました。睡眠により心が安定するため、本当に大切だと思います。自分の子育てにおいても、睡眠と食事は大事にしており、そこがしっかりしていれば、元気に学校に行けると思います。

「礎」について、家庭・地域・学校の連携が大切だと思っています。刈谷市は地域で子ど

もを育てることができており、継続してほしいと思います。

#### **池田委員**

「徳」についてですが、夢を持てる子どもたちになってほしいと思います。そうして豊かな心を育成する環境ができてくるのではないかと思います。

「礎」ですが、学校の環境や設備について、刈谷市は非常に恵まれていると思っています。子どもたちは恵まれた環境の中、学習に励んでいる、これは非常にありがたいことです。

#### **金原教育長**

1つだけ挙げるとすれば、「礎」の人との関わりの部分かなと思います。大綱の「礎」を考えていく中で、刈谷らしさを出すためには、この人との関わりかなと。一番難しい問題ですが、安心してここにいるだけでいいだと子どもが思える環境が大切で、この部分が出せたら、刈谷の教育はすごいなということになるのかなと思います。

この人との関わりを市長の公約に言い換えると、元気・笑顔・希望のまちづくり、もう少し言い換えると愛情・やさしさ・思いやりのあふれる学校づくり。こういう心を大事にした柱があっていいのだろうな、これが将来に繋がっていくのだろうなと思っています。

#### **刈谷市長**

「徳」のところで、自己肯定感と自己有用感が年齢とともに下がっていくのが日本で、なぜだろうと思っていますが、一流の文学、スポーツ、芸術に触れあう機会を設けたらどうかと思います。それぞれ個性の違う子どもたちですので、何か気づきがあるのではないかなと思います。

「体」につきましては、ICTでタブレットが出てきたり、スマホの長時間使用で睡眠障害が出たりということがありますので、それらとのうまい付き合い方を考える必要があるのではないかと思います。

「礎」ですが、自分たちが育った頃は上下関係がしっかりありました。先日、豊橋市の小学校が部活を廃止したとのニュースを見ました。部活は、3学年ぐらいが一緒にやる社会があります。異なる学年、世代間で学ぶ必要もあるのではないかなと思います。

### **3 その他**

第2回総合教育会議 令和2年10月23日（金）開催予定

第3回総合教育会議 令和3年2月17日（水）開催予定